

産学連携本部長メッセージ

Kageyama Kazurou

影山 和郎

産学連携本部長／教授



大学の使命は教育と研究にあります。大学の教育における第一義的な役割は、学生の人格形成の手助けをするとともに高度な専門知識を身につけさせることにあります。しかしそれだけに留らずその結果として、東京大学は開学以来、時代を切り開く人材や社会に貢献する有為の人材を多数世の中に送り出してきたと自負しています。それが教育を通じた東京大学の社会的貢献と言えるでしょう。同様に大学における研究の目的は、学問を深化し、我々の知り得る世界を拡大することにあります。大学で生み出された研究成果を移転可能な形（知的財産）に変換して社会に還元することも、国立大学法人としての東京大学の社会から付託された使命であると考えます。そのために、産学連携本部と産学連携系は、本学の産学連携活動において中心的役割を果たしていきたいと考えております。

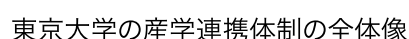
大学の研究成果の社会還元の中でも、大学創出技術の製品化や事業化は、大学における様々な産学連携活動のうち、最もダイナミックで社会へのインパクトも大きい活動です。技術の市場性を見通し、ニーズとシーズのマッチングを計り、技術の組み合わせを考えて新たな事業化モデルを構築することなど、大学創出技術の社会還元のためには、高度な技術移転戦略と経営戦略が不可欠です。このような東京大学の産学連携活動の最先端で株式会社東京大学TLOと株式会社東京大学エッジキャピタル、財団法人生産技術研究奨励会は着実な成果を上げつつあります。

産学連携本部はこれらの関連機関と密接な関係を維持しつつ、わが国のトップランナーとしての技術移転戦略を進めていきたいと思ひます。さらに、東京大学産学連携協議会や東京大学産学連携プロポーザルなどを通じた社会連携活動によって、社会に開かれた大学を目指していきたいと考えております。



東京大学の全学的産学連携体制は、産学連携本部の3つの部と本部と緊密な連携関係にある2社とによって組織全体が構成されています。

産学連携本部は社団法人日本経済団体連合会のご協力を得て、2005年に「東京大学産学連携協議会」を発足させました。産学連携協議会は産業界と東京大学の交流の場あるいは産学連携活動のプラットフォームとして、産業界からの東京大学に対する要望、提案、意見を受け止め、東京大学から産業界に対して直接的な情報発信を行って、産業界と大学とが社会に役立つ新しい価値の創造を、多様な形態で実践可能とするための基盤として機能しています（下図参照）。



2008年度産学連携関連イベント一覧

日 時	主な学内活動イベント	主な学外活動イベント
2008 年		
4/21 (月)		第 1 回起業・大学発ベンチャーセミナー開催
4/23 (水)	第 4 期アントレプレナー道場開講	
4/24 (木)		台北市教育局訪日団来訪
6/14 (土)～15 (日)		第 7 回産学官連携推進会議にて展示ブース出展
6/16 (月)		欧州委員会ポトチュニック委員講演会 ～EU 研究政策と日・EU 研究協力～開催
6/17 (火)		〈産学連携協議会〉第 10 回科学技術交流フォーラム 「発達知～先端科学技術と人間研究～」
6/19 (木)	産学連携専門委員会開催 (第 1 回)	
6/19 (木)		第 2 回起業・大学発ベンチャーセミナー開催
7/10 (木)	第 3 回 UCR ソフトウェア実用化提案会開催	
7/14 (月)		知的資産経営総括寄付講座シンポジウム開催
7/16 (水)		第 3 回起業・大学発ベンチャーセミナー開催
7/31 (木)	産学連携専門委員会開催 (第 2 回)	
8/ 1 (金)		国立台湾大学訪日団来訪
8/ 5 (火)	東京大学研究ライセンス取扱ガイドライン制定	
8/27 (水)		〈産学連携協議会〉第 11 回科学技術交流フォーラム 「CCS～温暖化対策の産業界における切り札となり得るか～」開催
9/ 3 (水)		〈産学連携協議会〉平成 20 年度 第 1 回アドバイザー・ボード・ミーティング開催
9/16 (火)～18 (木)		イノベーション・ジャパン 2008 に展示ブース出展
9/18 (木)		第 4 回起業・大学発ベンチャーセミナー (拡大バージョン) 「大学発ベンチャーにおける人材戦略の現状と課題」開催
9/27 (土)～28 (日)	第 4 期アントレプレナー道場合宿	
10/ 7 (火)	産学連携専門委員会開催 (第 3 回)	
10/20 (月)		「ジェロントロジー」「サステナビリティ」産学連携趣旨提案会開催
10/25 (土)	第 4 期アントレプレナー道場最終発表審査会開催	
11/ 5 (水)～ 9 (日)	北京大学との起業教育プログラム学生交流 (本学生 10 名北京派遣)	
11/ 6 (火)		第 9 回ビジネスフェア from TAMA に展示ブース出展
11/10 (月)～11 (火)		起業教育担当者向けセミナー開催 (Intel、UC Berkeley と連携)
11/12 (水)		〈産学連携協議会〉第 12 回科学技術交流フォーラム 「食糧～課題と産学の果たすべき役割～」開催
11/20 (木)		第 5 回起業・大学発ベンチャーセミナー開催
11/25 (火)	産学連携 シーズ実用化提案会開催 「簡便、迅速かつ高感度なマラリア感染診断法の開発」 「新コンセプトによる新機能蛋白質の創成と創薬への応用」	
12/ 1 (月)		東京大学地域振興研究会 第 1 回設立総会開催
12/16 (火)	知的財産セミナー開催	
12/18 (木)		〈産学連携協議会〉第 13 回科学技術交流フォーラム 「ジェロントロジー～安心で活力のある長寿社会を実現する学際科学～」開催
12/18 (木)		シンガポール国立大学学生視察団来訪
2009 年		
1/12 (月)～13 (火)		Japanese University Network in the Bay Area (JUNBA) への参加 (サンフランシスコ)
1/21 (水)	第 4 回 UCR ソフトウェア実用化提案会開催	
1/22 (木)		2008 年度 産学連携共同研究シンポジウム 「情報技術の未来と大学 / IT ベンチャーの役割」開催
1/30 (金)	東京大学発明コンテスト表彰式	
2/19 (木)～21 (土)	北京大学との起業教育プログラム学生交流 (北京大学学生 8 名が来訪)	
2/27 (金)～28 (土)	スタンフォード大学との「日本のアントレプレナーシップ」 に関する連携研究会を産学連携本部で開催	
3/ 9 (月)		〈産学連携協議会〉第 14 回科学技術交流フォーラム 「サービスイノベーション～サービス情報基盤の確立に向けて～」開催
3/16 (月)		〈産学連携協議会〉平成 20 年度第 2 回アドバイザー・ ボード・ミーティング開催 / 平成 20 年度年次総会開催

ご挨拶

産学連携研究推進部は、産学連携の共同研究の創出を通じて、その研究成果を具体的に産業界や社会へ還元することに加え、それらを基礎研究にも反映させることを目指しています。

主な活動には、共同研究の着想段階から産学で討議を重ねてイノベーションに繋がる共同研究を創出する共同研究立案企画プログラム Proprius21 や海外企業との国際的な連携を目指した Global Proprius21 プログラム、産学連携を希望する研究者の研究成果の発信（東京大学産学連携プロポーザル）、産学連携の端緒作りとしての各種プラザ活動などがあります。

更に地方自治体から職員を派遣頂き、1年間東京大学での産学連携活動をOJTの形で学んで頂いて、その成果を地域の活性化に有効活用して頂くことを主な目的とした『テクノロジー・リエゾン・フェロー（TLF）』という研修制度を推進しています。



Terasawa Koichi

寺澤 廣一

産学連携研究推進部長／
特任教授



Ogama Tetsuo

小蒲 哲夫

知的財産部長／教授

知的財産部では、東京大学の研究活動によって得られた成果の社会への還元、活用を目指し、株式会社東京大学TLO（CASTI）、財団法人生産技術研究奨励会との緊密な連携のもと、知的財産の承継と権利化、産業界へのライセンス等による活用とライセンス収入の学内への還元、それらのための関連規則の整備等を行っています。また、共同研究推進、知的財産の保護・活用の観点から、学外の顧問法律事務所等と提携し、各種契約の審査や締結、知的財産取扱に関するコンサルティングなどの法務面の支援も担っています。

国立大学法人化後、学内外からの協力と理解をいただき、このような体制、運営を整備してきましたが、知的財産部が学内研究者や部局、産業界の皆様信頼され、皆様のご要望に沿う支援ができるよう、より一層の努力をしていきたいと考えています。

事業化推進部は、本学の研究・教育成果の事業化を目指した起業・大学発ベンチャーの支援を担当しています。東京大学専属のベンチャーキャピタル・ファンド運営会社である株式会社東京大学エッジキャピタル（UTEC）の存在は、東京大学の大学発ベンチャー支援の独自のもので、産学連携プラザ及び駒場キャンパス連携研究棟（CCR 棟）にある「インキュベーションルーム」と、「東京大学アントレプレナープラザ（30室、約58㎡/室：2007年6月開業）」のインキュベーション施設と合わせて、本学の起業・大学発ベンチャー支援の重要なメニューとなっています。また2008年秋から本格稼働した「東大メンターズ」は、ベンチャー支援のための外部プロフェッショナル・ネットワークの提供を目指しています。

学生起業家育成教育プログラム「東京大学アントレプレナー道場」の主催・運営にも注力しています。今年度は5期目となりますが、2008年度からはビジネスプラン・コンテスト優秀チームによる北京大学との国際学生交流を開始しました。



Kagami Shigeo

各務 茂夫

事業化推進部長／教授

産学連携グループは、総務、企画、知的財産マネジメントの3チームで構成されています。総務チームは、産学連携本部所属教職員の労務関連、本部の活動に伴う会計経理、施設管理業務や各種イベントの開催、事業化推進部と協力して大学発ベンチャー支援業務など広範な業務を行っています。企画チームは、産学連携に関連する諸規則の制定・改廃、各種研究契約等の法務チェック、契約交渉等を知的財産部と協力して行っています。知的財産マネジメントチームは、知的財産部及び株式会社東京大学TLOと協力して、特許出願関連、知的財産の管理・活用、補償金としての配分業務等を行っています。産学連携本部の活動が活発化し、業務が増大してきておりますが、これらに対応すべくグループ全員で取り組んでいます。



Nashimoto Toru

梨本 徹

産学連携グループ長



Yamamoto Takafumi

山本 貴史

株式会社東京大学TLO
代表取締役社長

株式会社東京大学TLO（CASTI）は、東京大学で生まれた知的財産の出願からライセンスまでを扱う技術移転機関です。技術移転活動を通じて大学において生まれた『知』を社会に還元し、大学の基礎研究を中心とした研究成果の商業ライズを実現することで社会に貢献することを目指しております。現在、弊社の株式の全てを東京大学が保有し、東京大学の100%子会社となりました。東京大学の知的財産の産業界への窓口として、ワンストップサービスを目指しております。日本において、産学連携は、未だ始まったばかりの草創期です。より良い産学連携のあり方を弊社も模索してまいりますのでご支援の程、よろしくお願いいたします。

株式会社東京大学エッジキャピタル（UTEC）は、東京大学の研究成果や人材を活用するベンチャー企業に対して投資を行う、東京大学が「技術移転関連事業者」として認定する唯一のベンチャー・キャピタル・ファームであり、2004年4月に設立されました。83億円強のベンチャー・キャピタル・ファンドである「ユーテック一号投資事業有限責任組合」を運用するとともに、東京大学の研究・教育成果や事業アイデアの事業化を促進するための諸活動に注力しています。

今後とも、東京大学の技術シーズや人材を活用する新しい企業が、持続的に社会に貢献していくため、投資を通して支援して参りたいと考えております。引き続き当社の運営にご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



Goji Tomotaka

郷治 友孝

株式会社東京大学
エッジキャピタル
代表取締役社長